

あまいかおりのキクを飾ろう

(エネルギー応用研究所 バイオ技術グループ)

当地方で盛んな電照ギク栽培を支援するため、新規性の高いキクの開発に取り組んでいるエネルギー応用研究所は、これまでのキクのイメージを変える「甘い香り」のキクを開発しました。このキクの特徴を一般のお客さまや専門家に紹介し市場性を高める機会として、平成21年11月8日(日)に東京都世田谷区の東京農業大学「食と農」の博物館において、開発したキクを展示し、研究成果を講演しました。

講演では、「あまいかおりのキクを飾ろう」と題して、野生のキクを利用した品種改良の手法を解説するとともに、鉢植えの「甘い香り」のキクと、輪ギク(一般に取り扱われるキク)を実際にお客さまに比較していただきながら、香り成分の分析結果や姿・形の特徴を紹介しました。

園芸好きの一般の方々や研究者からは、これまでに無い爽やかな香りであるという評価のほか、鑑賞用としてだけでなくハーブや香料としての活用を提案いただくなど、今後の用途拡大に向けた貴重な意見や申し出をいただくことができました。

甘い香りのキクシリーズは今年度内に品種登録を行い、地域の生産支援につなげられるよう、有識者や一般のお客さまから広くご意見やご要望を聞き、用途の拡大を含めて商品化を検討していきます。



東京農業大学博物館に展示された「甘い香り」のキク(下)と、講演する津田研究員(上)

中部電力株式会社

技術開発本部 総務グループ

〒459-8522 名古屋市緑区大高町字北関山20番地1

TEL:052-621-6101(代) FAX:052-623-5117(代)

事務局直通 TEL:050-7772-2705 052-7772-2707

www.chuden.co.jp

技術開発ニュースは、各部門の研究成果を社内外に広く周知し、技術移転を効率的に図ることを目的に発行しています。これに対するご意見・ご要望は技術開発本部 総務グループまでご連絡ください。

本紙は再生紙で作られています。

